

建設業の担い手確保に向けた取組の効果 ～その効果をどのように確認するのか～

令和4年9月5日
公共事業運営課長
向井田 亮

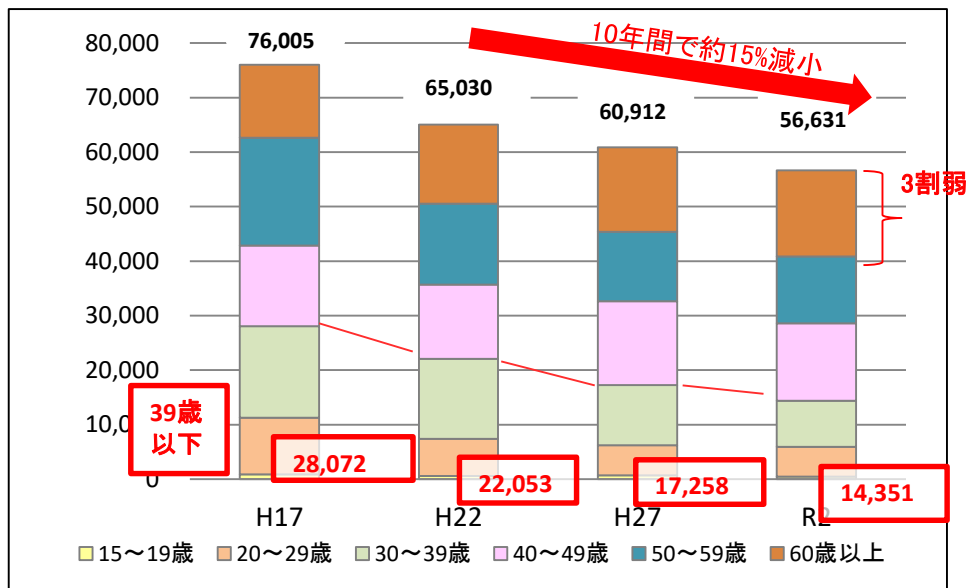


少子高齢化によって生産労働人口が減少していく中、建設業の担い手を確保するには、**求人活動の促進**はもとより、**建設業の労働環境改善**（特に若者や女性が活躍しやすい環境整備）、**建設現場の生産性向上**などの働き方改革が急務となっている。

現 状

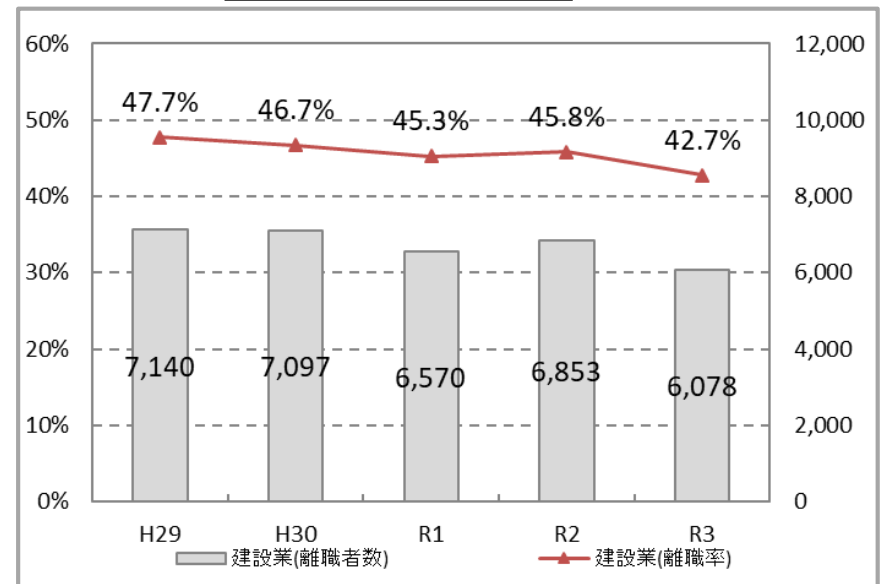
- 県内建設就業人口の減少が深刻（若者の建設業離れと就業者の高齢化）
- **60歳以上の建設従事者は全体の3割弱**を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれる。
- 建設業の高卒就業者（全国）は、その約4割が3年後に離職している。

県内建設業就業者数



出典：総務省「国勢調査」

建設業の新規高校卒就業者の
3年目までの離職状況



出典：厚生労働省「新規学校卒業就職者・離職状況調査結果」

入職・定着しない原因

<< 若年就業者の主な離職理由 >>

- ①自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため
- ②休日・休暇・労働時間の条件が悪かったため
- ③賃金の条件が良くなかったため
- ④キャリアアップするため

出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構
第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査

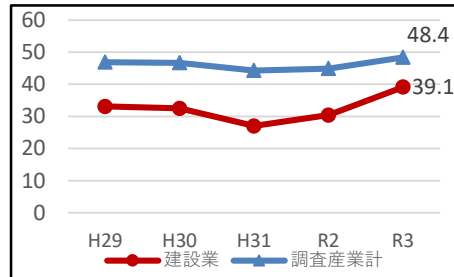
①建設業への理解

建設業への理解不足による
ミスマッチ。

- ・建設業のやりがいや魅力が伝わっていない。
- ・入職前のイメージと実際の業務とのギャップがある。

②休日の状況

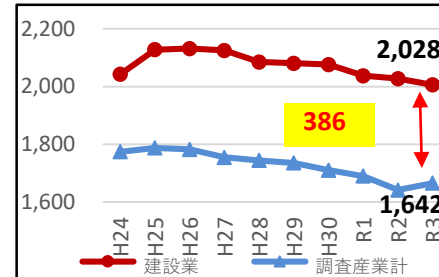
完全週休二日の導入率は
全産業に比べ10%程度低い。



出典：「厚生労働省」就労条件総合調査

②労働時間

県内建設業の年間総実労働時間は全産業に比べ年間300時間以上多い。



出典：三重県「毎月勤労統計調査」

③④技能労働者の処遇

身につけた能力や経験に応じた処遇が無い。

- ・適切な賃金水準の確保が必要。
- ・キャリアアップをしていく制度が無い。

入職・定着への取組

1. 魅力発信

- ・現場見学会
- ・出前授業
- ・女性技術者と女子学生の交流会など

2. 休日の確保

- ・週休2日制工事の推進

3. 長時間労働是正

(生産性の向上)

- ・施工時期の平準化
- ・ICT活用工事の促進

4. 処遇改善

- ・最新の実勢価格を設計労務単価へ迅速に反映
- ・建設キャリアアップシステム (CCUS) の活用等



現在行っている取組（建設業の魅力発信や休日の確保など）の効果をどのように確認するのか。

- 1. 担い手確保・定着に向けた取組・・・P5**
- 2. 取組を推進するうえでの課題・・・P11**
- 3. 取組の効果分析・・・・・・・・・・P12**

担い手確保には 教育機関と建設企業との連携が不可欠！

教育機関と建設企業との連携を支援(継続)

- ・建設企業との関係性を構築したい。
- ・先生が建設業を学び、知る機会が欲しい。



支援
マッチング

- ・学校の敷居が高く訪問できない。
- ・学生に建設業を伝える機会が欲しい。



担い手確保支援チーム 始動！（R4～）



カッコイイ姿を積極的に情報発信していこう！

会社の風土を変える！

建設業協会女性部会との連携

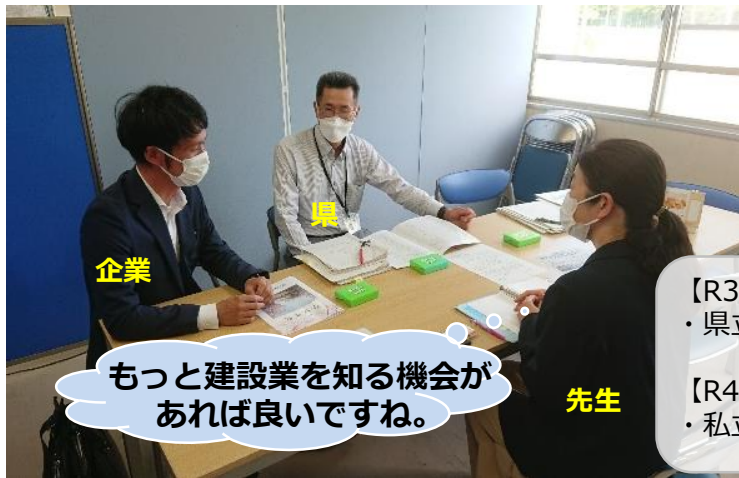


アイコンやロゴが欲しいね。

若手職員で構成するメンバーが業界団体と連携し、若手の視点で魅力発信に取り組む！

(1) 魅力発信

学校訪問



もっと建設業を知る機会があれば良いですね。

- 【R3実績】
・県立高校 24校
- 【R4予定】
・私立、大学へ拡大

出前授業



現場も見てみたい!

- 【R3実績】
・県立高校 3校
107名参加

現場見学会



達成感を感じれる仕事。
やりがいもあり楽しそう!

- 【R3実績】
・県立高校・高専
10校 359名参加

実習授業



授業では経験出来ない
圧巻の現場技術に感動!

- 【R3実績】
・県立高校
2校 30名参加

(1) 魅力発信

インターンシップ受入



【R3実績】
・県立高校 2校
32名参加

女子学生と女性技術者の交流会



【R3実績】
・県立高校
1校 38名参加

先生と企業の交流会



【R3実績】
・1回開催
県立高校 10校
教員 15名参加
建設企業 20社参加

写真展・SNS



公式 Twitter はじめました

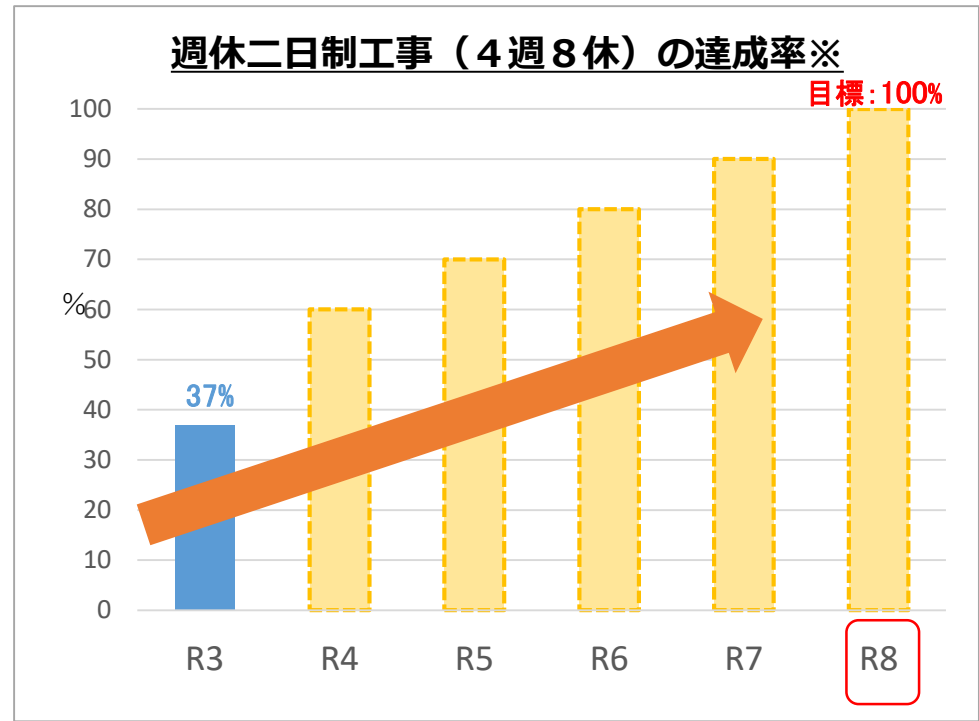
- 道路の整備や利用に関する情報
- 河川や海岸の防災に関する情報
- 住まい・まちづくりに関する情報
- 日々の業務や建設現場の様子 などをご紹介！

三重県 県土整備部
@mie_kendoseibi

(2) 休日の確保

週休2日制工事

- 働き方改革推進のため、週休二日制工事（4週8休 指定）の対象を拡大



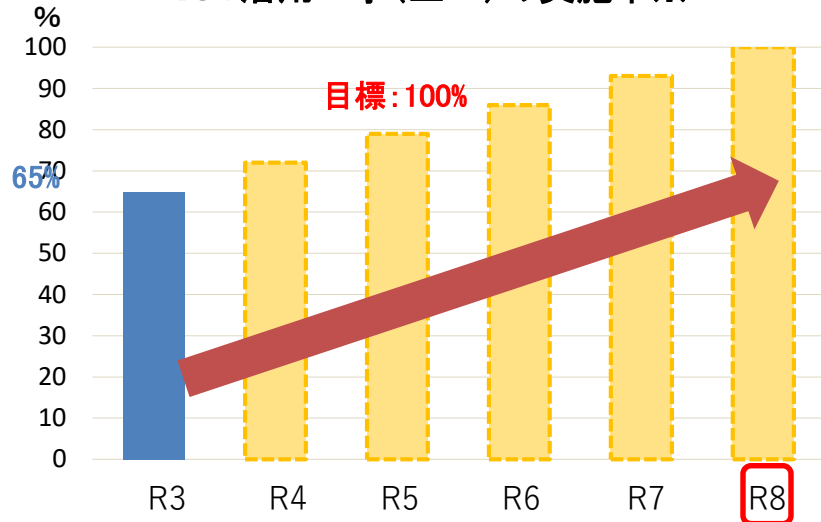
※ 達成率: 4週8休を達成した工事件数 / 週休二日制として発注した工事件数

(3) 長時間労働是正(生産性の向上)

ICTの活用拡大

- 生産性向上のため、ICT活用工事(土工)の実施率を向上させ、ICT活用を拡大

ICT活用工事(土工)の実施率※



※ 実施率: ICTを活用した工事件数 / ICT活用工事 (土工)の対象工事件数

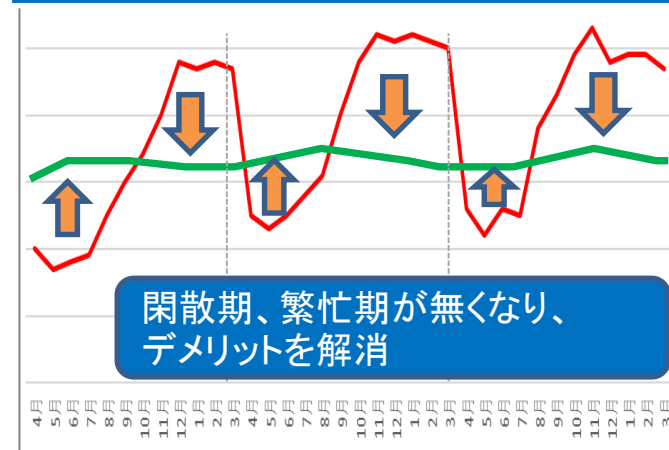


施工時期の平準化

- 生産性向上のため、施工時期を平準化

「施工時期の平準化に取り組むことは発注者の責務」
(担い手3法 改正)

年間を通じて工事量を平準化



平準化により期待される効果

- 労働者(技術者・技能者)の処遇改善
(長時間労働の是正、休日の確保等)
- 人材・資機材の実動日数の向上等による経営の健全化等

(4) 処遇改善

建設キャリアアップシステム (CCUS) の活用促進

- 技能者の処遇改善や技能の研鑽を図ることを目指し、建設キャリアアップシステム活用を促進

①事業者・技能者情報の登録

- ・ 商号、所在地
- ・ 建設業許可番号 等

システムに
情報を登録



②カード交付、現場での読取



技能者に
ICカードを交付

現場に設置した
カードリーダー
で読取
就業履歴を蓄積



③レベル分けの評価

技能と経験を4つの
レベルで評価

高度なマネジメント
能力を有する者



魅力発信、休日の確保、長時間労働是正(生産性の向上)、処遇改善の取組が担い手確保にどのように効果があるのかを確認することが難しい。

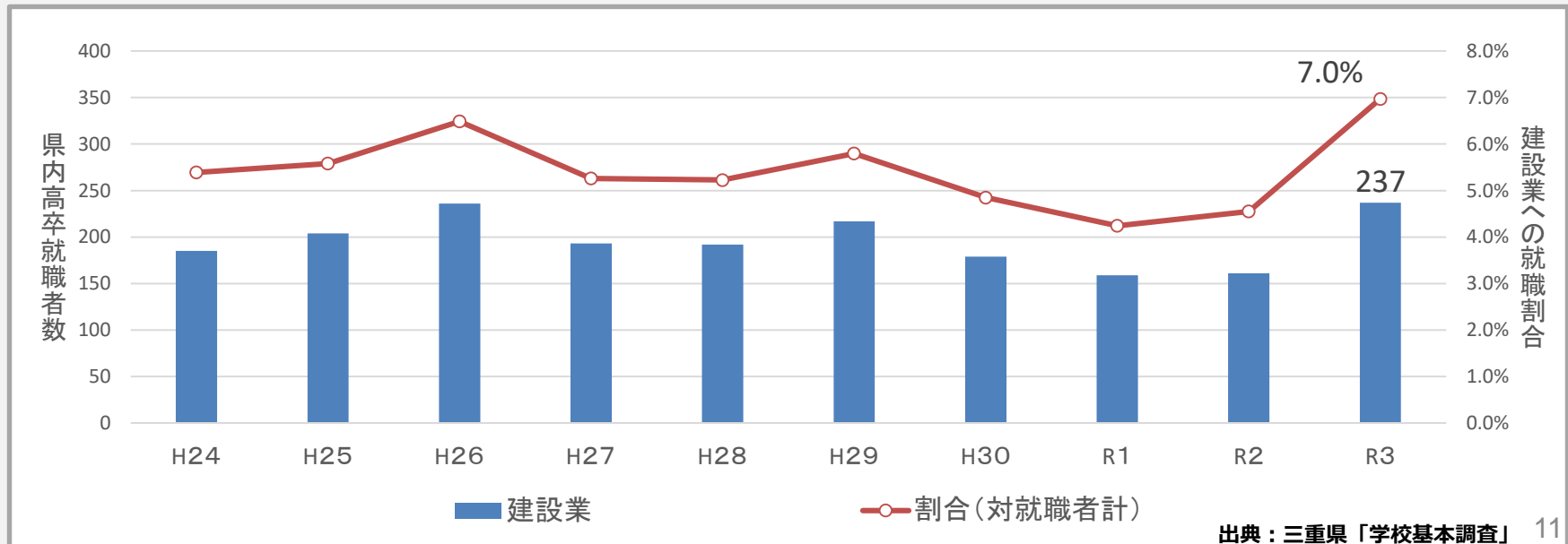
担い手の確保には、建設業の魅力発信や休日の確保、生産性の向上などの各取組の推進により、建設業のイメージUPを図っていくことが必要であるが、短期的に成果を得ることは難しい。

学校基本調査からは、建設業への就職者を把握することは可能であるが、各取組の結びつきがわからない。このため、個別の取組の問題点の把握が出来ていない。

(参考)

● 県内建設業への就職者数

県内高卒者の就職者数は、近年200人前後で推移しています。



3. 取組の効果分析

令和2年度～令和5年度

①【魅力発信】

指標

P R 機会の件数

〔学校訪問
現場見学会
インターンシップ
参加企業数 など〕

②【休日の確保】

指標

週休2日の達成率

③【長時間労働の是正】

指標

I C T 工事の実施率

④【処遇改善】

指標

C C U S 導入状況

ステージ1(短期)

建設企業の
取組が定着

<特に着目する指標>

県・業界の取組実績
(達成率、実施率等)

令和6年度～令和9年度

①～④の取組

指標

イメージの変化

〔教員の建設業へのイメージ
(教員へのアンケート調査)〕

ステージ2(中期)

建設業の
イメージが改善

<特に着目する指標>

教員のイメージ変化

令和10年度～

①～④の取組

指標

安定的な担い手の確保

〔建設業への就業者数
(学校基本調査)〕

ステージ3(長期)

建設業への
就職が定着

<特に着目する指標>

統計データ

※各ステージ：三重県建設産業活性化プラン
の計画期間を想定

3. 取組の効果分析

教員へのアンケート項目例（イメージ調査）

項目	評価（5段階評価）	見えてくる効果
建設業（建設企業）のPR	非積極的 ⇔ 積極的	魅力発信の伝わり方
職業選択に建設業が含まれているか	含まれていない ⇔ 含まれている	魅力発信の伝わり方
生徒から建設業への就職について相談があるか	ある ⇔ ない	魅力発信の伝わり方
建設業の年間休日数	90日未満 ⇔ 130日以上	休日の確保 (週休2日)
年間休日数の他産業との比較	少ない ⇔ 多い	休日の確保 (週休2日)
労働時間の他産業との比較	少ない ⇔ 多い	休日の確保、長時間労働是正 (週休2日、ICT、平準化)
建設現場のICT化	進んでいない ⇔ 進んでいる	長時間労働是正 (ICT)
労働賃金の他産業との比較	低い ⇔ 高い	処遇改善 (CCUS)
建設現場の労働環境	汚い ⇔ きれい	イメージ改善 (3Kの払拭)
建設現場の安全性	危険 ⇔ 安全	イメージ改善 (3Kの払拭)
建設現場の仕事	きつい ⇔ 優しい	イメージ改善 (3Kの払拭)



**取組（建設業の魅力発信や休日の確保など）
の効果をどのように確認するのか。**

- ① ステージごとに確認する項目（指標）**
- ② 教員へのアンケートの項目（内容）**